

天見小校長室だより 5月号

人の温かみを感じられる学校 みんなで笑顔と元気を作り出せる学校

新学年での生活はもう慣れましたか。

新学期が始まり1か月が過ぎました。新学年での生活はもう慣れましたでしょうか。毎日子どもたちの様子を見に教室を回っていると、**前向きに勉強に向かう**場面をよく見、自分の**意見をしっかりと伝える**温かな雰囲気を感じ、休み時間になると元気よくたくさん子どもたちが**運動場で遊んでいる**姿を見ると、なんだか心がほっこりします。

毎日の登校では、天見駅で降りてきた後も、学校まで一緒に連れて歩いてくれている6年生が、少しゆっくり歩くなど1年生を気遣ってくれていました。電車の中では、「**高学年が低学年に席を譲っているシーンを見て心がほんわかしました。**」と、子どもたちの登校の見守りで来てくださったお母さんからお話を伺うことができました。地域の方が「**最近挨拶してくれる子どもたちが増えて来ましたよ。**」と嬉しい言葉を掛けてくださいました。

掃除も、「たてわり」で行っていることがとてもいい取り組みだなと感心しています。先日は**3年生の子が1年生に**、掃除を一緒にやることでその場所をきれいにするコツを教えているのを目にし、「育っている」と感じました。

5月も「たてわり活動」が目白押しです。児童朝会では、たてわり班の顔合わせで自己紹介の時、恥ずかしくてなかなか言えない子に「**がんばれ**」と声をかけている高学年の姿を見ました。12日（金）には地域の方のご指導のもと、**たてわりで野菜**を育てるために、学習園にそれぞれの野菜を植えます。（今年はオープンスクールでの販売を予定しているそうです。）そして、22日（月）にはいよいよ「**てくてくテーリング**」があります。

学年を超えた繋がりを大切に、そして**低、中、高学年…それぞれの役割**を学び、**低学年にあこがられるような高学年になる気持ち**を育て、このたてわり活動は、**子どもたちの自主性と他学年への思いやりを育てる**うえで、とてもいい活動だと思いました。

たてわり活動ミニ版として、1・2年生が合同で春見つけをしていました。はじめに2年生が見つけた春の花を12個、絵にかき「この花はどこに咲いているでしょう。」と、1・2年生一緒に見つけるような取り組みをしていました。

1学年の差でもちゃんとお兄さん、お姉さんしている2年生を頼もしく見え、「ウォーリーをさがせ」みたいに楽しい取り組みだなと思いました。

「ふるさと」ってどんなところ？

皆さんはこの「ふるさと」という詩をご存知でしょうか。この詩は、どんな豪華な家に住んでも、どんな立派な校舎で学んでも、人間が最後に行き着くところは、**真に心を育ててくれたところ**であると教えてくれています。家庭・学校・地域それぞれの立場で子

育ての責任を相応に分担し、社会全体で子どもの心を育み、子どもの心に、家庭も学校も地域も『ふるさと』として宿れるようになりたいものです。

ご存じの通り、天見小学校は、河内長野市全域から誰でも通える小規模特認校となっています。現在、全校児童の70%が天見小学校地区以外から電車に乗って通っています。この緑美しき山間の小さな学校の、少人数ならではの温かみのある教室環境と、体験活動やたてわり活動など他の学校にはない取り組みが充実した天見小学校が、この詩にありますように、「**よき師よき友にめぐり会えるところ**」となり、心を育て「**心をとどめたところ**」となり、**地域に根差した故郷**になれるよう、教職員一同、頑張ります。

《ふ・る・さ・と》

育ったところ 必ずしも家庭ではない
心を育てられたところが 家庭である
学んだところ 必ずしも母校ではない
よき師よき友にめぐり会えたところが 学校である
生まれたところ 必ずしも故郷ではない
心をとどめたところが 故郷である

天見小学校の「あ・ま・み」をなぞらえて

㊦…あいさつ

㊧…まなび合い

㊨…みとめ合い

今年度、「あ・ま・み」の言葉をなぞらえて、子どもたちへ、大切にしてほしいことを教職員で考えました。「なかよし・けんこう・どいよく」と同じように、大切にしてほしいことばかりです。

あいさつは、自分も相手の人も一瞬で幸せにできる魔法の言葉です。「おはようございます」から始まり、「ありがとう」「ごめんね」「また明日ね」など、

どんな言葉をかけられても嫌な気持ちには決してならないでしょう。

まなび合いは、今、求められている力そのものです。学んだことをお互いに共有したり、伝え合ったりする力こそ大切です。友だちの考えを聞いて、時には共感し、時には自分と違う考えに触れ、自分の中の「思考の木の枝」をどんどん伸ばして行ってほしいです。

みとめ合いは、一番大切にしたいことです。相手の意見をみとめ合える関係、友だちのがんばりを感じられる関係、頑張れたことをみんなで共有できる関係、その関係が育っているところでは子どもたちはぐんぐん伸びるからです。